

## 令和6年度 第1回 学校評価(教職員まとめ)

【1】実施時期 令和 6年 6 月 24日～ 7月 19 日

【2】回答率 教職員数(25)回収数 (22) 回答率 (88)%

【3】各項目 結果のまとめ

A …あてはまる B …だいたいあてはまる C …あまりあてはまらない D …あてはまらない E …わからない

| No | 評価項目                                                                                         | AB評価<br>% | CD評価<br>% |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------|
| 1  | 本校は、学校・学年・学級の目標や、重点テーマ目標「伝える つなげる ゴースマイル」を子どもたちに伝えている。                                       | 100       | 0         |
| 2  | 本校は目指す学校「子ども主体学校」の実現に向けて重点コンセプト「自立・主体・自主」(KDD)に取り組んでいる。                                      | 100       | 0         |
| 3  | 本校が石川中学校、宇津木台小学校と合同で行う取組は、教育的な効果をあげている。                                                      | 61        | 30        |
| 4  | 本校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。                                                 | 100       | 0         |
| 5  | 自分が担当する学級、教科および職務において、教育活動全体(「特別な教科 道徳」を含む)を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるように指導している。 | 100       | 0         |
| 6  | 本校はいじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。                                            | 100       | 0         |
| 7  | 自分の担当する学級および教科において、子どもたちが授業や学校行事に意欲的に取り組めるように支援している。                                         | 96        | 4         |
| 8  | 自分が担当する授業では、説明、板書、話し合い活動、ICT機器(1人1台の学習用端末を含む)の活用などの工夫に取り組んでいる。                               | 96        | 0         |
| 9  | 自分が担当する教科において、子どもの学習活動に対する評価を適切・公平に行っている。                                                    | 96        | 0         |
| 10 | 本校は、子どもがよりよい生活を送ることができるようにするため、学校の生活指導の目標やきまりを守るように取り組んでいる。                                  | 96        | 0         |
| 11 | 自分の担当する学級、教科および職務において、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来について指導している。                        | 78        | 13        |
| 12 | 本校は、授業で使う教室や廊下、オープンスペース、体育館、校庭等を児童が安全で快適に学習ができるように整備している。                                    | 96        | 4         |
| 13 | 本校は保護者に対して適切に情報を提供している。(学校便り、学年便り、ホームページ等)                                                   | 100       | 0         |
| 14 | 本校は、特別支援教育に適切に取り組んでいる。                                                                       | 96        | 4         |

|  | 評価項目に対する意見                                                                                                                                                                                                                                    |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>令和6年度上半期の小宮小学校を振り返り、成果としてあげられること、次年度以降にも継続していきたいことを入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・KDDの意識付けがしっかりとされているので、子供が主体的な行動を取ろうと頑張っているように感じる。KDDに限らず、「自分のことは自分でやる」という気持ちは継続していった良いと思う。</li> <li>・KDDは子どもたちに浸透している。</li> </ul> |

- ・子どもたちにKDDの意識ができています。
- ・委員会活動で、6年生を中心にKDDで話し合ったり作業を勧められるようになったと感じる。
- ・KDDの取り組み。意識して取り組もうと頑張っている様子が見られる。
- ・今まで実践してきたKDDの指導が職員全体で実践できて、良い形にまとまってきたように感じる。
- ・小宮小改善会議や特別活動を通して、児童が主体的に考え取り組んでいる。
- ・高学年が委員会やクラブ、全校朝会「伝えたい」等でKDDを意識して実行しているのが下学年のお手本になっているように感じる。

15

- ・子どもたちがクラブ活動、委員会活動で主体的に取り組んでいる。
- ・遅刻が少なく、朝、8:15に朝の会が始められる。
- ・もくもく清掃がよくできている。
- ・小宮小の子供の自主性や素直さは、今後も大切にしていきたい。
- ・児童主体の活動を継続して行っていきたい。特に2学期は運動会や文化祭などの大きな行事がある。教員主体ではなく児童の想いを大切に児童の行動で作り上げる発表にしていきたい。
- ・特に委員会・クラブ等の活動がとてもいいものになっていると感じる。今後、伝える朝会等で発表を行い、その成果を児童が感じられるように支援していきたい。
- ・学習指導の中で、他者に説明する活動や話し合い活動が活発になるように指導した。
- ・いじめ対策夕会、生活指導夕会で情報共有がしっかりとできている。
- ・いじめを未然に防ぐ取り組みや、起きてしまった際の迅速な組織的対応が定着してきた。
- ・ホームページやおたより、Home&Schoolを活用することで、うまく情報を発信できている。
- ・教職員で力を合わせて取り組んでいる。

令和6年度上半期の小宮小学校の教育活動を振り返り、課題と感じたことを入力してください。

16

- ・行事など、担当からの提案がもう少し早いとよかったと感じることがあった。
- ・教室や廊下、オープンスペースを児童が安全で快適に学習ができるように整備すること。
- ・評価基準が校内で統一されていないように感じる。教科書が新しくなった今年度ここでもう一度基準をはっきりさせる(数値や児童像を示す)ことで評価の精度が増すのではないのかと考える。
- ・個人面談が5月だと早すぎると感じる。特に新しい学年、学級になったときは、子供の様子がまだ掴めておらず、資料も集まっていない中、話が深まらないと感じる。
- ・先生方や関係する方々と情報共有をきちんと行い、小宮小全体で子どもたちを育てていけるようにしていきたい。
- ・意識付けはできていると思うが、土台になるチャレンジ精神をあまり感じない。失敗したらどうしよう、という気持ちが強いと思う。計画を立てることも含めて、もっと子供から「やってみたい」を引き出し、いけるように声掛けをしていきたい。
- ・自他の大切さを気付いていけるように、引き続き指導していきたい。
- ・支援が必要な児童や集団から逸脱してしまう児童が増えているように感じる。保護者対応もより丁寧さや慎重さが求められるようになり、教員の負担が増している。

・児童一人ひとりが安全を心がけて学校生活を送ろうとする意識を高められたらいいと感じる。  
オープンスペースでの過ごし方、教室内での過ごし方、など、各学級・学年でも日々声を掛けて指導したり、生活保健部の担当の先生が校内放送で呼びかけたり、朝会や集会でも話題にしているが、オープンスペースでおいかけっこをしたり、激しい遊びをしたりする様子、廊下を勢いよく走る、トイレから飛び出してくる姿を、どの学年でもよく見かけている。

・教室移動時の廊下の歩き方に課題を感じる。

・話を聞くこと。ICT活用を進めることでスライドなどの映像と共に話を聞く機会が増え、ただ「聞く」ということにあまり慣れていないように感じる。日常生活では、ただ「聞く」ことの方が当たり前に多いので、その力も意識してつけていきたい。

・学年ごとの教室配置になっているため、他学年の様子が見えない。

・給食の完食率が低い。



